

子育て支援コーナー

なかよし保育園子育て支援センター

★親子教室 (☎96-4551・FAX 22-9881)

- 1歳6カ月～2歳5カ月 6日(火)
- 2歳6カ月以上 20日(火)・27日(火)

★すくすく赤ちゃん

- ネンネ・寝返りグループ 1日(木)・8日(木)
- ハイハイ・ヨチヨチグループ 15日(木)・22日(木)

★マタニティおしゃべり広場 5日(月)

いずれも午前10時～11時30分 費用無料、申し込み不要。

★料理教室 13日(火)

- 幼児食 定員5名 要予約 午前10時～11時30分

市子育て支援センター

(はまなす保育所内 ☎FAX 24-1260)

★あそびの広場

- 0歳～1歳半 2日(金)・16日(金)・30日(金)
- 1歳半～2歳 9日(金)・22日(木)
- 2歳～2歳半 14日(水)・28日(水)
- 2歳半～3歳 7日(水)・21日(水)
- 3歳～3歳半 13日(火)・27日(火)
- 3歳半以上 6日(火)・20日(火)

いずれも午前10時～11時 費用無料、申し込み不要。

(受付時間は午前9時30分～9時50分)

河北子育て支援センター (飯野川保育所内 ☎61-1601)

★あそびの広場

センターにきて親子で楽しく遊んだり、お母さん同士で子育てについて話し合ったりしてみませんか？

12日(月)保健指導 (保健師の講話)

22日(木)野外保育 (追波川河川運動公園) 参加申し込みが必要です。

※この他にも、月・水・木曜日に楽しい遊びを用意しています。

遊びに来てくださいね！(利用時間は、午前10時～11時30分)

地域に出向いています

★子育て広場 <今月の予定>

- 6日(火)辻堂・三輪田(河北親林交流館)
- 9日(金)福地・横川・谷地(大川保育所)
- 13日(火)針岡第一・針岡第二(原生活センター)
- 20日(火)間垣・釜谷(間垣老人憩の家)
- 27日(火)長面・尾崎 (長面老人憩の家)
- 30日(金)中島(中島生活センター)

以上の地区にうかがいますので、多くの方の参加をお待ちしています。

雄勝地区子育て支援 (雄勝総合支所保健福祉課 ☎57-3611)

★母子センター開放日

9月12日(月)午前10時～11時30分

「雄勝を散歩しよう！」

※帽子をかぶってきてね！ ※参加費無料

お母さん同士お子さん同士の交流の場です。お気軽にご参加ください！

河南子育て支援センターパプラ (☎FAX 72-4670)

★わいわいサロン

(2名の指導員と親子で遊びましょう。申し込みは不要です。)

農村環境改善センター 2階(パプラ)午前9時30分～11時30分

- 0、1歳親子 6日(火)・20日(火)・27日(火)
 - 2歳以上親子 1日(木)・8日(木)・22日(木)・29日(木)
- 親子の上靴・おやつ着替えなどをお持ちください。

★でんわ相談・来所相談……ひとりで悩まないで！

★子育てひろば『スクエア』

☆☆☆親子バス遠足のご案内☆☆☆

とき 9月13日(火)・15日(木)

ところ 平沼沼ふれあい公園(米山町)午前9時30分河南総合支所前集合

参加費：1家族300円+保険料1人30円(親子2人で60円)

(先着)親子25組 パプラにお申し込みください。

桃生地区子育て支援 (桃生保健センター ☎76-3360)

★遊びの広場

- 桃生保健センター 7日(水)、14日(水)、21日(水)、28日(水)
- 桃生文化交流会館(☎76-3418) 3日(土)、17日(土)、24日(土)

※いずれも午前9時30分からです。

※参加申し込みが必要ですので、桃生保健センターへご連絡ください。

★親と子の遊びの広場出前事業

とき 27日(火)午前9時30分～ ところ 檜崎分館

※参加申し込みが必要ですので、桃生保健センターまでご連絡ください。

★子育て電話相談 (桃生保健センター ☎76-3360)

とき 5日(月) 対象者 どなたでもご相談できます。

相談内容 子育てに関すること

北上地区子育て支援

(北上保健センター ☎67-2301)

★ひまわりキッズ 8日(木) 午前10時～11時30分

★ひまわりキッズフリー 28日(水) 午前10時～11時30分

保育所食育展の開催案内

～食べるの大好き！～

保育所で取り組んでいる「食育」の様子を紹介します。お子さんと一緒に遊びに来てください。

とき 10月30日(日) 午前10:00～午後3:00

ところ 石巻市立はまなす保育所

- 内容
- 展示コーナー 畑づくりやクッキング、作品の紹介をしま～す。
 - 遊びコーナー みんなでワクワク遊んじゃおう！
 - 給食コーナー おいしいおやつを試食もあるよ！

☎ 子ども家庭課 (内線425)



表紙から

夏空が広がった8月7日、市内各地で夏祭りが開催され、石巻市は“アツイ”1日となりました。牡鹿地区では鯨まつりが行われ、多くの人が会場を訪れました。おしかホエールランド前広場で披露された金華山龍踊りでは、長さ10m、重さ100kgもある龍を力強くふる龍衆に、会場から大きな歓声が上がっていました。(安)

編集後記

楽しいイベントが目白押しだった夏も終わり、あわただしい日常がもどってきました。広報担当となってもうすぐ半年、いまだに写真撮影や原稿作成に四苦八苦の日々を送っています。まだまだ新前ですが、親しみやすい市報作りをめざして頑張っていこうと思います！(菊)

石巻市の人口と世帯数

	82,613人(-939人)		88,160人(-760人)
	170,773人(-1,699人)		59,025世帯(+285世帯)

平成17年8月1日現在
()内は昨年同月比

動詞にみられる方言

石巻市文化財保護委員
谷川 正明



今回は、この地方の動詞の方言を取り上げます。

一、石巻地方で独特に用いられる言葉として、「カダル」(語る)があります。「ウソカダル」という表現は県北東部のみでしか用いられません。標準語では「言う」と表現し、語るには接続しません。さらに、「カダル」には縁談を持ち込むと言う意味や、告げ口をするという意味もあります。

「娘が役人さんにカダラいだ。」「悪いごどすたら、先生さかだつから」

などのように使います。「うそを言う」という意味では、「ボガヒル」(呆け＝嘘の隠語+放る)という表現もあります。

「ネマル」はくつろいで座るという意味で、宮城県地方でよく使われる言葉ですが、横になるという意味で使うのはこの地方だけです。

「トゲル」(解ける)は、「オレサマ(雷)トゲダ(落ちた)」「腹トゲダ(下痢した)」と特殊な意味を持って使われます。

「アラス」(荒らす)は、木を落すの意味で三陸地方南部で使いますが、「アラガス」で転がす、「アラゲル」で転ぶ、という意味で用います。このように幅広く用いるのはこの地方だけでしょう。

水の町にふさわしく、堀やぬかるみに入るという意味で用いる独特な言葉として、「ゲツバル」「キヤツボル」(川入る)があります。石巻地方の中でも地域によって、発音に微妙な違いがあるようです。「ツツベル」(突き入る)という言葉も使われます。「カワツペリ」という言葉には、身投げの意味もあります。

二、現在では、標準語では使わなくなった古語を、現在でも方言として使っている例として次のようなものが挙げられます。

「エズグ」(吐く、吐き気がする意味の古語)

「クセ(つわり)ひどくてエズイでばりいる。」

この言葉は、仙台方言の代表的言葉の「エズイ、エズイ」と語源が同じです。

「ナメル」(滑るの古語)

「タツペ(凍った道)でナメッてひっころんですまつたでば。」

すべるの意味では「ハスル」という言葉も使われます。「ハシヤガス」(乾かすの古語)は、ふざけるという意味の言葉、はしゃぐの他動詞です。「洗濯物はハシヤガスタ。」と使います。

三、漢語を語源とする方言には、次のようなものがあります。

「タス」(達す) 告げ口する。「学校の先生さタスがらね。」
「カンニンスル」(堪忍する)「後でまやう(償う)がらカニンすてけさいん。」

「モーメスル」(蒙昧する) あわてるの意味。「にわか注文でモーメスル。」

「アズダス」(案じ出す) 思い出すの意味。「思い出すアンズダス笑つてる。」

「エソツグ」(愛想が尽く) という言葉は、さらに、「エソコソツギル」「エソモコソモツギル」と強調されてゆきます。「エソグレ」(愛想を呉れる) 愛想・挨拶の意味の言葉も、同じく愛想がもとなつた言葉です。

四、現在でもよく使われている方言。

「ゴミをナゲル」(投げる) は、捨てるの意味で使います。「ゴミ箱ナゲテ来っから。」と中身だけを捨てに行きます。「アルグ」(歩く) は、回るの意味でよく使われています。「学校の中を走ってアルグ。」「車を回してアルグ。」

「アツカウ」は、扶養する、看病するの意味です。「いまでも孫ばアツカッてつてば。」「病人ばアツコー。」

その他、「エムズリナンネ」(居振りならない) は、身動きが取れないの意味で、「マガツテミル」は、のぞいて見るという意味で、おもに老年層で使われています。また、「イズイ」「エズイ」(怨ず) は、目にゴミが入った時の違和感などを表す場合には、老若男女を問わず今でも全体的に使う人が多い言葉です。対人関係で窮屈だという意味で使うケースは減少傾向にあります。

フオットな一枚③

朝霧のふるさとの風景



佐々木武芳さん
(北上町月浜)

時間によって変わる朝日や夕日の色に魅せられ、カメラを片手に北上町の山や川、海の風景を眺めるようになって40年になります。住み慣れた町ですが、季節や時間により変化に富んだ風景が、毎日楽しませてくれます。特に霧がたちこめた自然の風景が好きで、これまで霧のヨシ原や北上川の河口風景をカメラにおさめてきました。

この写真は、11月の早朝 相川漁港を小船が出漁していく様子をカメラにおさめた一枚です。海面一面にたちこめた霧が、周辺の景色を包み込む中、小船が出漁していく様子が墨絵のような光景に見え撮影しました。

これまでは、主にふるさとの夕日や朝日の風景を撮影することが多かったのですが、これからは花の開花する一瞬のきらめきをカメラで表現することができたらと考えています。

